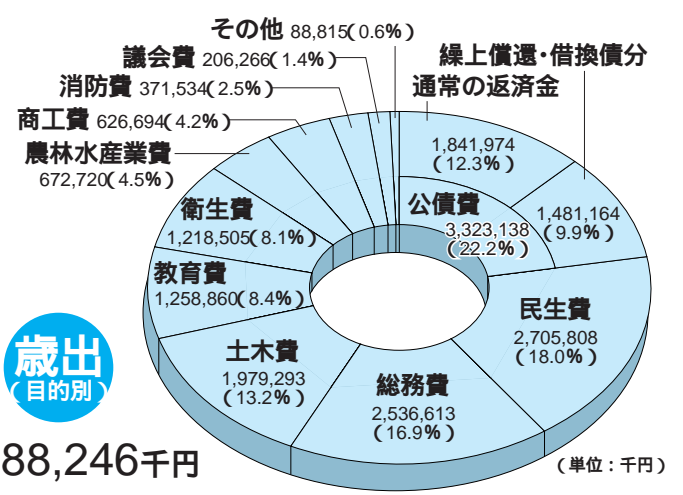
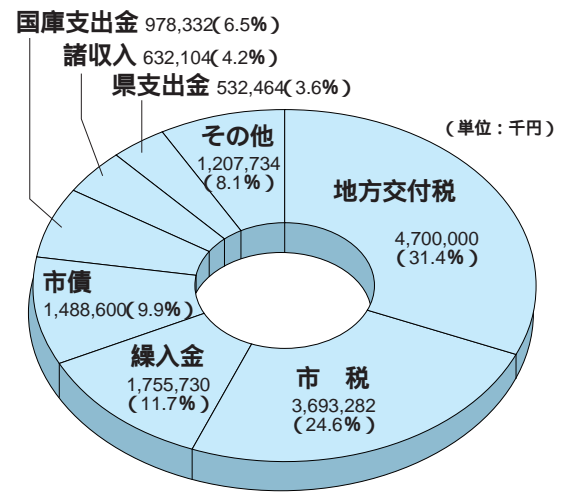


平成16年度 予算

150億円 の使われ方

歳入 14,988,246千円



**歳出
目的別**
14,988,246千円

**歳出
性質別**
14,988,246千円

項目	金額	割合
公債費	3,323,138	22.2%
通常の返済金	1,841,974	12.3%
繰上償還・借換債分	1,481,164	9.9%
人件費	3,215,288	21.4%
物件費	2,138,124	14.3%
繰出金	1,729,797	11.5%
補助費等	1,353,788	9.0%
投資的経費	1,352,266	9.0%
扶助費	1,058,095	7.1%
その他	817,750	5.5%

市の一般会計当初予算の総額は、約150億円となりました。歳入（収入）のうち、一番大きいのは、国からもらえる地方交付税で47億円、全体の31.4%となります。次は、皆さんに納めていただく市税で約37億円、全体の24.6%です。市民の皆さんのために行う事業の予算を歳出（支出）とします。

市では、市民の皆さんに満足していただけるサービスの提供に努めています。例えば、介護保険に該当しない高齢者に対する生きがいデイサービス、障害者のスポーツ施設の利用助成、育児支援策としてのファミリーサポートセンターの管理運営をはじめ、市独自のいろいろな施策です。ほかの市町村ではあまり行わない、市独自のサービスができるのは、市の財政が比較的順調だからです。

市の予算の一番大きな特徴は繰上償還です。市が必ず支払わなければならない借入金の返済は、約18億円で予算の12.3%程度です。しかし、将来、私たちの子どもや孫に負担をかけさせないために、まだ返さなくていい分についてもどんどん返しています。これが繰上償還です。それが今年では9億円ほどになっています。

平成7年度より継続的に行っている繰上償還の総額は、平成16年度予定分まで含めると106億円ほどになり、今年度でホワイトキューブの借入金も、すべて返し終えること

になります。この繰上償還のための資金は、繰上償還された借入金に対しても交付税措置があるため、それらの財源などを積み立てていた預金を引き落として充てています。ですから、繰上償還のために、福祉や教育などのサービスを削ることはありません。

ちなみに、繰上償還をしないで普通に返済した場合を試算して、どのくらい効果があったかをみますと、およそ27億円以上もの、利払いの負担が軽減されたこととなります。このように、繰上償還により負担が軽減された分、住民サービス向上のために、より多くの事業を行うことができるのです。

また、市では第三次行政改革を進めており、事務事業の見直しや、経常的な経費の削減を行いながら、鉄道駅舎エレベーター整備事業や学校施設耐震委託事業など市民の福祉、安全のための予算を充実させています。ですから、三位一体の改革により、地方交付税や国庫補助負担金など国からの財源が大幅に減らされている中で、対前年度当初予算と比べ実質2%増（借換債分5億6,350万円除く）とメリハリのある予算となっています。

歳出予算の主な事業は次のとおりです。

総務費

白石市三本木線、白角線、大張線、越河線、鎌先線生活路線バス運行委託および市民タクシーの運行経費に1,637万円
IT社会に対応する情報化対策、アテネ（情報センター）の管理運営に9,635万円
国際交流員の設置や国際姉妹都市ハーストビル市との交流など国際交流事業に1,611万円
スパッシュランド、碧水園、白石城などの管理運営に9,719万円
ホワイトキューブのイベントや管

民生費

理運営に1億9,420万円
市制施行50周年記念事業におけるイベントや年表の作成などに986万円
電子投票関係機器のリース料や電子投票の支援に1,173万円
知的障害者ホームヘルプサービスや地域生活、施設訓練などの支援、福祉作業所やまぶき園の運営委託など知的障害者福祉費に2億7,317万円
生きがいデイサービス、自立者支援のためのホームヘルプサービス、ねたきり老人等紙おむつ給付、高齢者無料バス助成、配食サービス、バリアフリー住宅普及促進事業、シルバーハウジング生活援助員派遣、外出支援サービス事業など長寿福祉費に1億6,627万円
老人福祉センター、総合福祉センターおよび福祉プラザやまぶきの

知的障害者ホームヘルプサービスや地域生活、施設訓練などの支援、福祉作業所やまぶき園の運営委託など知的障害者福祉費に2億7,317万円
生きがいデイサービス、自立者支援のためのホームヘルプサービス、ねたきり老人等紙おむつ給付、高齢者無料バス助成、配食サービス、バリアフリー住宅普及促進事業、シルバーハウジング生活援助員派遣、外出支援サービス事業など長寿福祉費に1億6,627万円
老人福祉センター、総合福祉センターおよび福祉プラザやまぶきの

衛生費

患者輸送車の運行や在宅番医の運営委託に1,120万円
肺炎球菌ワクチン接種委託などの予防接種事業、健康診査、成人歯科検診、がん検診、痴呆予防対策事業、運動予防事業など市民の健康を守る経費に1億9,910万円
まちをきれいにリサイクル運動報償金、合併処理浄化槽の設置補助金、ごみ集積所設置補助金など生活環境保全の経費に1億1,774万円
生ごみ資源化事業所「シリウス」の管理に2,952万円

歯科休日診療所の運営委託に273万円
精神障害者小規模通所授産施設の運営に802万円
精神障害者居宅生活支援事業補助金など精神障害者保健福祉事業に434万円
介護予防拠点施設の管理に181万円
ゴミ収集委託に6,846万円

労働費

勤労青少年ホームの管理運営に1,507万円
雇用・失業問題に対処する緊急雇用対策経費として4,696万円

農林水産業費

市民農園関係費、農業祭の負担金など農業振興事業に1,104万円
バイオマス利活用フロンティア整備事業補助金や白石市家畜排せつ物処理施設整備事業補助金など畜産振興事業に8,480万円
中山間地域等直接支払事業や農道、用水路、ため池整備など農村居住環境の保全と改善のための経費に7,797万円
ふるさと農道緊急整備事業として峠沢線（越河）ほか4農道の改良に7,230万円
松くい虫防除、造林事業、砂押山線開設事業など林業振興費に9,873万円

商工費

商店街の活性化に対する助成、全日本こけしコンクール負担金、中小企業振興資金融資信用保証料補給、中小企業経営資金の円滑化を図るための貸付金など商工業振興費に4億5,416万円
観光協会、春・夏まつりおよび観光振興のための助成や、小原・鎌先温泉地域における遊歩道の整備など観光費に1億1,251万円
温籍の館、弥治郎こけし村の管理運営に913万円
白石スキー場の維持管理に614万円

土木費

市道の改良、舗装、側溝整備など

道路橋りょうの整備や水門電動スライドゲート整備など河川管理に2億9,723万円
鉄道駅舎エレベーター整備事業費負担金に5,333万円
公園の維持管理に5,599万円
沖の沢郡山線街路の整備に6億1,367万円
木造住宅耐震改修工事助成補助金など住宅の耐震対策や市営住宅の維持管理に4,005万円

消防費

消防団の運営や防災対策としての白石市地域防災計画作成委託など消防費に3億7,153万円

教育費

小・中学校、幼稚園における耐震診断業務委託に2,518万円
小中学校電算借上に2,964万円
小・中学校生徒指導対策、特色ある学校づくりおよび総合的学習事業など教育振興費に5,802万円
外国人による英語指導事業に1,727万円
公民館、図書館、青少年相談センター、白石市スポーツセンターの管理運営に1億8,832万円
学校給食センターの管理運営に3億1,707万円

特別会計

国民健康保険特別会計
33億6,488万6千円
(対前年比1億6,312万4千円増)
下水道事業特別会計
16億498万円
(対前年比1億243万5千円増)
地方卸売市場事業特別会計
367万4千円
(対前年比12万1千円減)
老人保健特別会計
44億2,185万1千円
(対前年比1億190万9千円減)
農業集落排水事業特別会計
6億9,394万9千円
(対前年比2億5,644万2千円増)
介護保険特別会計
20億5,042万1千円
(対前年比2億9,574万円増)
水道事業会計
収益的収入 10億3,739万4千円
収益的支出 10億3,201万9千円
資本的収入 2,358万5千円
資本的支出 2億3,841万3千円